

問1	1918年、シベリア出兵を見越した業者の買い占めなどにより米の価格が急騰しました。これに対し、富山県の沿岸部の女性たちが米の県外への運び出しを阻止しようとした行動は、またたく間に全国へと広がり、軍隊が出勤するほどの大規模な民衆運動へと発展しました。この出来事の名称として正しいものを選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 足尾銅山鉱毒事件	2. 米騒動	3. 秩父事件	4. 日比谷焼打ち事件
問2	1918年に発生した米騒動の原因と経過について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 岩手県公立入試 類似）			
	1. シベリア出兵を見越した商人による米の買い占めなどで米価が急騰し、富山県の主婦たちの行動をきっかけに全国的な暴動へと広がった。	2. 第一次世界大戦による不況で失業者が増加したため、都市部の労働者を中心に米の配給を求める運動が全国で展開された。	3. 領事裁判権の撤廃を求める条約改正運動が激化し、これに反対する農民たちが米の価格安定を求めて全国で蜂起した。	4. 西郷隆盛らが主張した征韓論めぐって政府内で対立が起き、これに不満を持った士族たちが全国で反乱を起こした。
問3	1912年に、藩閥や軍部の支持を受けて成立した桂太郎内閣に対し、「閥族打破・憲政擁護」をスローガンとして起こった、憲法にもとづく政治を求める運動を何といいますか。（2023年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 第二次護憲運動	2. 足尾銅山鉱毒事件の反対運動	3. 自由民権運動	4. 第一次護憲運動
問4	1918年の米騒動のあとに成立した内閣において、日本で初めて組織された「本格的な政党内閣」の説明として、最も適切なものはどれか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 福澤諭吉の思想に基づき、学問の自由と議会政治の確立を目的として、知識人を中心に結成された内閣。	2. 立憲政友会の総裁であった原敬が、陸軍・海軍・外務大臣以外のすべての閣僚を自党の党員で構成した内閣。	3. 加藤高明を首相とし、衆議院の多数を占める政党が交代で政権を担う「憲政の常道」が確立されたときの内閣。	4. 犬養毅が内閣総理大臣となり、五・一五事件が発生するまで続いた、軍部を抑制するための政党内閣。
問5	1922年に西光万吉らを中心に京都で結成され、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という宣言でも知られる、被差別部落の人々自身による差別撤廃と尊厳の回復を目指した組織を選びなさい。（2024年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 新婦人協会	2. 日本労働総同盟	3. 全国水平社	4. 日本共産党
問6	第一次世界大戦が日本の産業構造や社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 軍需品の生産を優先するために民間向けの輸出が厳しく制限された結果、貿易収支は赤字となり、政府は増税を繰り返して国民の不満が高まった。	2. 輸出の急増によって、それまでの軽工業中心から重化学工業へと産業の重点が移り始めたが、米価などの物価高騰が国民生活を圧迫する要因となった。	3. 戦乱を避けるために外国資本が日本に流入し、一時的にバブル景気となったが、大戦終結と同時に全ての工場が閉鎖され、深刻な金融恐慌に陥った。	4. 欧米諸国との貿易が完全に遮断されたため、日本は独自の技術開発を余儀なくされ、これが現代のハイテク産業の直接的なルーツとなった。
問7	1914年の東京駅の完成に象徴されるような、全国的な鉄道網の整備と都市化が進展した大正時代の社会背景について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 明治政府による文明開化の政策が進められ、都市部ではレンガ造りの建物やガス灯が設置されるなど、急速に西洋化が進んだ。	2. 開国後の貿易の活発化により、横浜などの開港場を中心に洋食や洋服が庶民の間に広まり、伝統的な生活習慣が大きく塗り替えられた。	3. 高度経済成長期を背景に、都市部の一般家庭において電気冷蔵庫や洗濯機などの電化製品が普及し、生活様式が劇的に変化した。	4. 都市部で働くサラリーマンなどの居住者が増加し、雑誌や映画が人気を集め、1925年にはラジオ放送も開始されるなど、大衆文化が広まった。
問8	第一次世界大戦後のアジアや日本で起こった民衆運動の組み合わせとして、正しいものを次の記述から選びなさい。（2025年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 朝鮮では、日本の植民地支配からの独立を求めて三・一独立運動が起こり、日本でも大正デモクラシーと呼ばれる民主主義を求める動きが広まった。	2. 中国では、ガンディーが中心となって五・四運動を指導し、インドで起こった社会主義運動と連携して帝国主義に反対した。	3. 日本では、普通選挙の実施を求める三・一独立運動が活発になり、これに呼応して朝鮮でも大正デモクラシーの影響を受けた運動が起こった。	4. インドでは、マルクスの指導のもとで非暴力・不服従運動が展開され、イギリスの植民地支配に対して組織的な抗議が行われた。
問9	1918年、米騒動の後の混乱を背景に、日本で初めてとなる「本格的な政党内閣」が組織されました。この内閣の総理大臣を務め、爵位を持たない衆議院議員であったことから「平民宰相」という呼び名で国民から親しまれた人物は誰ですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 原敬	2. 寺内正毅	3. 加藤高明	4. 板垣退助
問10	1925年に制定された普通選挙法では、衆議院議員の選挙権を得るための条件が大きく変更されました。その内容として最も適切なものを選択してください。（2025年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 納税額による制限は維持されたが、選挙権が得られる年齢が満25歳から満20歳に引き下げられた。	2. 直接国税の納税額が10円以上から3円以上に引き下げられ、有権者の割合が拡大した。	3. 直接国税の納税額による制限が廃止され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。	4. 性別に関わらず、直接国税を納めている満20歳以上のすべての国民に選挙権が与えられた。
問11	第一次世界大戦前後の国際関係と日本の動きについて、歴史的な因果関係を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. バルカン半島での対立をきっかけに、ロシアとの三国協商を最優先して参戦し、その代償としてドイツから樺太の全域を譲り受けた。	2. ドイツ・オーストリア・イタリアによる三国同盟側に対抗するため、イギリスとの同盟関係を根拠に参戦し、東アジアにおける勢力拡大を図った。	3. 日露戦争後の不平等条約を解消するため、アメリカと密約を結んで参戦し、中国におけるドイツの権益をすべて清に返還した。	4. 三国干渉によるドイツの南下政策を阻止することを主目的として参戦し、戦後のベルサイユ条約で満州の鉄道利権を独占した。
問12	第一次世界大戦中の日本では、工業生産の急増により「大戦景気」と呼ばれる好景気となりましたが、この時期には労働者が待遇改善を求める運動が激増しました。1917年の山口県における統計では、米の価格が47%、野菜が57%も上昇した一方で、工場労働者の賃金上昇率は7%にとどまっていました。このデータから推察される、当時の労働運動が活発化した背景として最も適切なものはどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）			
	1. 政府が労働者の権利を制限する法律を廃止し、自由にストライキを行えるようになったため	2. 労働時間が大幅に短縮された結果、労働者が受け取る給与の総額が減少したため	3. 急激な物価の上昇に対して賃金の上昇が追いつかず、労働者の生活が困難になったため	4. 戦争による需要が減り、多くの工場が閉鎖されたことで失業者が街にあふれたため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 米騒動	第一次世界大戦の影響で物価が上昇する中、シベリア出兵を見込んだ商人の買い占めにより米価が暴騰しました。富山県で始まった抗議運動が全国に波及したこの「米騒動」は、当時の寺内正毅内閣が退陣する直接的な原因となり、その後の本格的な政党政治への扉を開くことになりました。
問2	答え 1 シベリア出兵を見越した商人による米の買い占めなどで米価が急騰し、富山県の主婦たちの行動をきっかけに全国的な暴動へと広がった。	ロシア革命への干渉を目的としたシベリア出兵が行われることを見越して、商人が米を買い占めたことにより米価が急騰しました。これに対し、生活に困窮した富山県の海岸部の主婦たちが米の県外への積み出しを阻止しようとした行動が新聞で報じられると、同様の暴動が全国に波及しました。
問3	答え 4 第一次護憲運動	明治の終わりから大正の初めにかけて、一部の藩出身者や軍部が政治を動かす「藩閥政治」への批判が高まりました。尾崎行雄や犬養毅らが中心となり、憲法に基づく議会政治を確立しようとするこの運動が展開された結果、桂太郎内閣は退陣に追い込まれました。これを第一次護憲運動と呼び、大正デモクラシーが本格化するきっかけとなりました。
問4	答え 2 立憲政友会の総裁であった原敬が、陸軍・海軍・外務大臣以外のすべての閣僚を自党の党員で構成した内閣。	1918年、米騒動により寺内正毅内閣が退陣した後、立憲政友会の総裁であった原敬が内閣総理大臣に就任しました。この内閣は、専門職としての性質が強い陸軍・海軍・外務大臣の3ポストを除き、すべての閣僚を政党員で固めたため、日本で最初の本格的な政党内閣と呼ばれています。
問5	答え 3 全国水平社	大正デモクラシーの時期には、それまでの政府主導の改善策を待つのではなく、差別を受ける当事者が自ら立ち上がる運動が展開されました。1922年に結成されたこの組織は、日本初の人権宣言ともいわれる「水平社宣言」を採択し、人間としての平等を強く訴えました。
問6	答え 2 輸出の急増によって、それまでの軽工業中心から重化学工業へと産業の重点が移り始めたが、米価などの物価高騰が国民生活を圧迫する要因となった。	第一次世界大戦期の好景気は、日本が「軽工業国」から「重化学工業国」へと転換する重要な契機となりました。しかし、経済の急速な拡大は激しいインフレーションを引き起こし、賃金の伸びが物価の上昇に追いつかなかったため、都市労働者や農民の生活は困窮しました。これが後の1918年に発生する米騒動の大きな背景となっています。
問7	答え 4 都市部で働くサラリーマンなどの居住者が増加し、雑誌や映画が人気を集め、1925年にはラジオ放送も開始されるなど、大衆文化が広まった。	大正時代には、第一次世界大戦による景気拡大を背景に、工場や官公庁、会社が多く集まる都市部へ人口が集中しました。鉄道網の発達には人々の移動を容易にし、都市で働く事務労働者（サラリーマン）や女性（職業婦人）といった新しい層が文化の担い手となりました。彼らを対象とした安価な雑誌の創刊、映画（活動写真）の流行、そして1925年のラジオ放送の開始などは、一部の特権階級だけでなく多くの人々が共有できる「大衆文化」を形成しました。選択肢にあるガス灯やレンガ造りの建物は明治時代の特徴であり、電気冷蔵庫の普及は戦後の昭和時代のことです。
問8	答え 1 朝鮮では、日本の植民地支配からの独立を求めて三・一独立運動が起こり、日本でも大正デモクラシーと呼ばれる民主主義を求める動きが広まった。	第一次世界大戦後の民族自決の意識の高まりを受けて、1919年に朝鮮では三・一独立運動が起こりました。同時期の日本では、政党政治や普通選挙を求める大正デモクラシーの動きが活発化しています。インドの非暴力・不服従運動を指導したのはガンディーであり、マルクスは19世紀の産業革命期に社会主義を唱えた人物であるため、この時期の指導者とする記述は誤りです。また、五・四運動は中国で起こった愛国運動であり、ガンディーが指導したものではありません。
問9	答え 1 原敬	米騒動により寺内正毅内閣が退陣した後、衆議院の第一党であった立憲政友会の総裁が首相に指名されました。それまでの藩閥中心の政治から、議会の多数派を基盤とする政治への大きな転換点となりました。
問10	答え 3 直接国税の納税額による制限が廃止され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられた。	加藤高明内閣のもとで制定された普通選挙法は、それまで参政権の条件であった「直接国税の納税額」という制限を廃止したことが最大の特徴です。これにより、経済状況に関わらず満25歳以上のすべての男子が有権者となりました。なお、女性に参政権が認められるのは、第二次世界大戦後の1945年の法改正を待つことになります。
問11	答え 2 ドイツ・オーストリア・イタリアによる三国同盟側に対抗するため、イギリスとの同盟関係を根拠に参戦し、東アジアにおける勢力拡大を図った。	当時の国際社会は、ドイツ・オーストリア・イタリアの「三国同盟」と、イギリス・フランス・ロシアの「三国協商」の二つの陣営に対立していました。日本はイギリスと「日英同盟」を結んでいたため、これを大義名分として連合国側（協商側）で参戦しました。この参戦には、ドイツが中国や太平洋諸島に持っていた拠点やドイツの権益を奪い、東アジアでの日本の影響力を強めるという政治的な意図が含まれていました。樺太（サハリン）の南半分を得たのは日露戦争後のポーツマス条約の結果であり、第一次世界大戦の結果ではありません。
問12	答え 3 急激な物価の上昇に対して賃金の上昇が追いつかず、労働者の生活が困難になったため	第一次世界大戦中、日本は輸出の急増によって未曾有の好景気を迎えましたが、同時に深刻なインフレーション（物価高騰）が発生しました。生活必需品である米や野菜の価格が数倍に跳ね上がったのに対し、労働者の賃金はわずかな上昇にとどまったため、実質的な生活水準は低下しました。この生活苦が、賃金の引き上げや労働条件の改善を求める「労働争議」が多発する直接の原因となりました。